



## 「Global IT Park 南魚沼」構想について

### 1. 現在までの経緯

- H27.8.20 Adam-i(株) (社長ほか 2 名) が当市を訪れ、IT パーク構想について提案を受け、設置の検討をする方針を決定。(市長、産業振興部長、企画政策課、商工観光課同席)
- H27.9.8 第 1 回協議 (会場：南魚沼市)  
Adam-i(株)と新潟県産業立地課、市担当 (商工観光課、情報管理室、大和市民センター同席)  
提案の実現性や県・市からの支援可能性などについて協議
- H27.9.30 第 2 回協議 (会場：東京)
- H27.10.16 第 3 回協議 (会場：南魚沼市)
- H27.10.22 市長説明を行い、実施に向け進めることで指示をいただく。
- H27.10.26 第 4 回協議と Adam-i(株)による IT パーク構想説明 (会場：東京)
- H27.12.3 第 5 回協議 (会場：東京)
- H27.12.7 第 6 回協議 (会場：南魚沼市)
- H28.1.25～2.2**  
スリランカ・コロンボとインド・トリバンドラム&ニューデリープレゼン
- H28.2.9 第 7 回協議 (会場：東京)
- H28.2.18** 新潟県、南魚沼市、国際大学、Adam-i(株)の 4 者の間において、**基本構想推進に向けた取り組みに関する協定締結式**
- H28.2.19 第 7 回協議 (会場：南魚沼市)  
南魚沼市と Adam-i(株)との間で、大和庁舎改修工事設計に向けた調整を実施。
- H28.3.15 第 8 回協議 南魚沼市と Adam-i(株)の間において、大和庁舎の使用や費用負担などについての確認書締結の調整と、IT 企業従業員の居住施設についての調整を実施。
- H28.3.17 第 9 回協議 南魚沼市と Adam-i(株)の間において確認書を交わす。

#### 【協定の内容】

##### (目的)

南魚沼市内へのインフォメーションテクノロジー企業等の集積を図る Global IT Park 南魚沼構想推進に向けた取組の実施と発展を図るものとし、もって地域経済を活性化することを目的とする。

##### (主な内容)・IT パーク構想の推進体制の構築及び運営に関すること

- ・ IT パーク構想に伴う施設整備及び運営に関すること
- ・ IT パークへの企業誘致及び事業継続への支援に関すること
- ・ IT パークに関連した産業・人材の育成に関すること



## 2. IT パーク構想について

国際大学を卒業したカウシャル・ワウラガラが代表取締役である、調査・コンサルティングサービスを主な業務とする会社アダムイノベーションズ(株) (Adam-i) から提案があったもので、主にインド・スリランカにおいて日本に事業拠点を欲しがっている IT 企業は多いが、東京では費用が多くかかることから進出の障害となっている。そこで経費が多くかかる首都圏よりも首都圏に近い立地条件や安価な家賃などが見込め、国際大学もあり言語・生活的なバックアップも見込める南魚沼市において、IT 企業の進出拠点を斡旋したいと提案があったもの。現構想では、大和庁舎の 1 階をパーティションにより仕切り 16 ブースを作り、インド・スリランカの IT 企業の日本事務所を誘致し、主にソフト開発や IT サービス提供などの事業が見込まれている。

将来的には、大和地域の他の場所に土地を求め、海外内のデベロッパーによる IT パークを建設し、多くの海外 IT 企業の誘致を構想目標としている。

## 3. 構想についての協議内容

- ①2016 年に大和庁舎に 16 オフィスを誘致し IT パークを稼働する。改修は 1 階のみで、会議室等は市と供用する。
- ②大和庁舎の改修は 16 社の進出を確実に出来ることが大和庁舎改修の前提条件となる。そのため、2 月までに Adam-i がリストの中から進出企業の選定と進出の約束 (契約) を取ることが前提要件である。
- ③大和庁舎の改修については、Adam-i と進出企業との間で契約が終了したことを確認した後、南魚沼市において 4 月から改修工事を実施し、7 月からの稼働を目指す。
- ④市は Adam-i との間で 7 年～10 年間の物件賃貸借契約を結び、家賃の外に改修費相当額等を回収する。
- ⑤進出企業の日本への事業所開設等の手続きやサポートは Adam-i が行い、市は出来る範囲においてバックアップを行う。
- ⑥全ての協議が整った後、基本事項及び必要事項について市及び県と Adam-i で 3 者協議書を交わす。(又は国際大学が加わり四者協定)

## 4. 概算費用

- ・大和庁舎内の IT パーク改修費用…2,400 万円
- ・什器 (机・椅子) 購入費…250 万円
- ・通信回線工事費…150 万円

} 改修関係  
2,800 万円

平成 27 年度補正予算で予算措置済み



## 5. 将来構想について

本事業が軌道に乗った場合、3段階の成長が想定される。誘致分野の構想などは以下のとおりであるが、最終的にはデベロッパー開発による施設を設け、350社の誘致につなげたい。

- ・インテンシブ成長期（2016-2020）

主にインド、スリランカ、そして日本のソフトウェアソリューションに特化したソフトウェア開発会社に焦点をあてる。

- ・インテグレート成長期（2020-2025）

前成長期で運営を始めた企業のさらなる拡大、ソフトウェアソリューションの展開やほかのIT関連の企業（ハードウェア会社など）とのビジネスに焦点をあてる。

- ・ダイバーシティ成長期（2025-2030）

インテグレート成長期の企業のさらなる拡大、そして次世代のITソリューションを活かしてIT以外の業界への事業普及に焦点をあてる。（農業、環境、自然等）

## 6. 現在の進出希望企業数と今後の市のスケジュール（予定含む）

- ・進出希望企業数…26社（H28.3.10時）

- ・今後のスケジュール

|           |   |
|-----------|---|
| 3月11日まで   | 進出企業申請受付                                    |
| 3月14日～25日 | 企業の選定と連絡                                    |
| 4月11日～    | 企業の日本子会社の設立と各種手続きの実施<br>(4月～5月 大和庁舎の改修工事实施) |
| 6月        | 企業従業員の日本移住<br>(6月 IT Park 開所準備)             |
| 7月        | IT Park オープン                                |

(南魚沼市役所大和庁舎)



(ブースイメージ)

